

○参考【ご紹介】

「長崎県時津町 行政文書管理士による実地指導に挑戦します」

長崎県時津町情報管理課
早瀬川 誠
(行政文書管理士)

長崎県時津町は、平成12年度にAKF（行政ナレッジファイリング）を導入しており、平成19年度からは情報管理活用委員会を中心とした自主管理を行っています。

平成25年度までの実地指導は、情報管理活用委員2名で行ってまいりました。そのため、実地指導中の各課からの質問に対し即答できない事例があり、後日文書管理担当課から回答することもありました。

時津町としては、自主管理へ移行するにあたり、文書の適正な維持管理を継続していくことが必要と考え、毎年1名がADMICの研修を受講し、専門知識を有し指導的立場に立つ職員の養成に取り組んできた結果、平成25年度末で6名の行政文書管理士が誕生しました。

そこで、平成27年1月19日～23日、6名の行政文書管理士が本邦初の内部指導者として全22保管単位の実地指導を行います。このことはAKFの自主管理において、行政文書管理士の活躍の場を確立したものと考えています。これから詳細について協議を重ねていきますが、実施後に良い報告ができるように頑張ってまいります。

※情報管理活用委員会：時津町における情報の管理体制を確立し、事務の適正化及び効率化を図るために設置しており、副町長を委員長として、部課長、各課のファイル責任者、行政文書管理士等をもって組織しています。文書の保管、保存及び廃棄の適正化や年2回の実地指導等を主な事務としている機関です。